



柴芍六君子湯 (さいしゃくりっくんしとう)

【処方コンセプト】胃腸虚弱で、みぞおちから両脇にかけて一杯になる方の胃痛・腹痛に。

このタイプは、六君子湯を使いたいような胃腸虚弱で、みぞおちから両脇にかけてが一杯になったような感じか、重苦しい感じがあり、神経質な方が目標となる。

◆柴芍六君子湯は、六君子湯（胃腸の機能を補い、水をさばく）に柴胡・芍薬（肝の気を巡らせ、痛みを止める）の2生薬を加えた処方である。

◆六君子湯の証で、胸脇苦満（みぞおちから両脇にかけて張る）し、腹直筋の攣急がみられるものに用いる。ただし、この胸脇苦満は軽い。

◆柴胡桂枝湯や四逆散を用いたいようなタイプで、しかも胃内停水が著明で、体力が弱いものによい。

◆肝実脾虚（神経興奮して種々の症状があり、かつ消化機能の低下した状態）の証に用いる。



◆消化力が低下して食欲が減退し、少し多く食べると下痢したり、下腹部が張って苦しくなり、貧血気味で、手足が冷えやすく尿量も多いタイプで、腹直筋や胸脇部の筋肉拘攣や腹痛を伴うもので、気のアせりのあるような方に用いる。また、ストレスの影響で胃腸の調子が悪くなるものによい。

【処方構成】 10味

脾虚痰飲(胃腸の機能を補い、水をさばく)の六君子湯に、柴胡（サイコ）、芍薬（シャクヤク）の2味を加味した処方である。基本的には六君子湯の方意をもっているが、加味した2味は疏肝解鬱(肝の気を巡らせストレスの影響を軽減する)の柴胡と柔肝止痛(筋肉の緊張を和らげ、痛みを止める)の芍薬であり、ストレスなどが加わることにより、痛みを伴う消化器疾患によく奏功する。六君子湯に鎮痛作用を考慮した処方といえる。

ニンジン
ビャクジュツ
ブクリョウ
カンゾウ
補気健脾

タイソウ
ショウキョウ
ハンゲ
チンピ
調和諸薬
燥湿化痰

サイコ
シャクヤク
疏肝止痛

	補気				理気				解表		化湿			利水		補血 芍薬	配合 生薬 数		
	人参	甘草	大棗	山藥	蓮肉	陳皮	香附子	木香	半夏	桔梗	柴胡	生姜	縮砂	藿香	扁豆			茯苓	白朮
柴芍六君子湯	○	○	○			○				○	○					○	○	○	10
香砂六君子湯	○	○	○			○	○			○		○	○	○		○	○		11
六君子湯	○	○	○			○				○						○	○		8
参苓白朮散料	○	○		○	○					○			○	○	○	○	○	○	10

処方名	類方鑑別
柴芍六君子湯	六君子湯タイプで胸脇苦満があり、ストレスなどにより痛みが増す方に。
香砂六君子湯	六君子湯タイプでみぞおちが痞えて、気鬱があって食べられない方に。

六君子湯	食べると眠くなり、疲れやすく、朝寝起きの悪い方（脾虚痰飲）。
参苓白朮散料	六君子湯タイプで常に下痢を伴い、食欲がない方。